



町長 二瓶 盛一

明けましておめでとうございませす。謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年が町民の皆さまにとって、健康で幸せな年になることを心よりお祈りいたします。

この一年を振り返ってみると、新型コロナウイルス感染症対策の規制緩和によって、感染前のにぎわいが戻り、明るさが広がってきた感があります。そんな中で開催した夏の磐梯まつり、花火大会、秋の新そばまつりは主催団体と関係者のご尽力により、盛大に繰り広げられました。町民参加の趣向を強め、子供からお年寄りまで多くの方に喜んでいただけたものと思います。

年末には猪苗代中学校駅伝部男子が全国大会に初出場、5位入賞という快挙を成し遂げました。秋に全会津、県、東北大会を制覇しての全国大会でも、最後まで諦めることなくタスキを繋いだ選手たちの絆は、町民に大きな感動と勇気を与えてくれました。

「本当にありがとうございます」
その一方で、記録的な暖冬・雪



町議会議員 後藤 公男

新年明けましておめでとうございませす。町民の皆さまをはじめ各方面におかれましては、平素から町議会に對しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、元日早々から能登半島地震があり、被災され亡くなられた方々には改めて心からのお悔やみを申し上げますとともに、平和で穏やかな新年を迎えられる喜びを皆さんと共に分かち合いたいと思います。

また昨年中には、SNSで集められた闇バイトによる凶悪な強盗事件が頻繁に報道され、日本人の美徳とされる他者を思いやる気持ちや安全な住民生活が少しずつ変わりつつある気がして大変残念であります。議会といたしましても、町や関係機関、団体と連携、協力しながら安全安心な街づくりのため、必要な対策の推進に取り組んでまいります。

さて、本年は巳年、昔から「成長」

不足で経済的打撃を受け、夏には集中豪雨に見舞われ、磐梯山周辺で土砂流出による自然災害が発生しました。町民の命と暮らしを守るのが、町長に課せられた最大の使命です。引き続き安全・安心な地域社会を実現するよう、全力で取り組む覚悟です。

猪苗代町は今年、町制施行七〇周年を迎えます。年間を通して「七〇周年記念」を冠に各種大会、祭りなどのイベントを展開します。創意工夫を凝らし、町民本位の明るく元気なまち猪苗代を発信していきます。楽しみにしてください。

節目の年に、姉妹都市提携を目指してまいります。【野口英世博士から北里柴三郎博士へ】
昨夏、千円札の肖像を引き継いだ両博士は日本を代表する医学者で、師弟関係にあります。北里博士の故郷・熊本県小国町のほか、既に友好関係にある長野県伊那市、東京都豊島区や静岡県三島市なども含め、交流人口の拡大に繋がります。各市区町村との人的交流、文

「変革」「新しい挑戦」など、新しいことが始まる年とされています。また、蛇は強い生命力から信仰の対象とされることもあります。有名なものに、ギリシャ神話に登場する医神アスクレピオスが持つ杖には蛇が巻き付いており、世界保健機構(WHO)の旗章にあるように、世界的に医療・医療の象徴として用いられています。

議会におきましては、昨年に議会基本条例を制定し、これに基づいて議会報告会や一般会議を開催してまいりましたが、本年はなお一層町民の方々からの御意見や質問にお答えできるよう活発な活動に取り組み、町民の代表として、議員一同決意を新たに議会活動に努めてまいります。町民皆さまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆さまにとってより良い年となりますようにお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

化や観光などさまざまな分野での協力を考えています。

さらに、野口博士の生誕百五十年となる来年に向けて、ガート共和国との姉妹都市提携を目指しています。東京オリンピック、パラリンピックでのホストタウン担当、農業研修などで交流している両国の関係は世界へ視野を広げる絶好の機会になるものと考えています。猪苗代町をみんなで盛り上げていきたいと思います。



教育長 宇南山 忠明

新年あけましておめでとうございませす。町民の皆さまには、日ごろより本町の教育充実・発展のために、ご理解とご協力を賜り、心から御礼と感謝を申し上げます。

昨年を振り返ると、4月に町内の小学校6校が2校に統廃合となり、統合前の各学校の特色を活かした教育活動を取り入れるなど、2校とも良好な学校経営を行っていたいております。開校から3年目を迎えた猪苗代中学校は、ほぼ全ての施設が完成し、生徒は充実した学校生活を送ることができています。

各学校を訪問し子どもたちを見ますと、多くの子どもが楽しそうに学校生活を送り、人と人との関わりの中で切磋琢磨しながらいるなことを吸収して、確実に成長している様子が見え、子どもたちの活躍をたくさん見ることができました。中でも猪苗代中学校駅伝部の男子は、中学校開校以来の全会津・県・東北と3大会で優勝し、全国中学校駅伝大会出場を決めました。女子も、全会津・県と上位入賞し、東北大会

では県勢トップの4位入賞を果たすなど、中学生の活躍は町民に感動を与えてくれました。

男子の全国大会当日は、町から応援バス2台が駆けつけ、大勢の町民の声援に励めるかのように、選手は猪苗代町の代表として素晴らしい走りを見せ、見事5位入賞を果たしました。

一方、日本は今、「人生100年時代」を迎え、人口減少や少子高齢化の急速な進行、激甚化する自然災害への対応など、社会が急速な変化を続けており、教育現場でも、いじめ・不登校等への対応、中学校の部活動地域移行など複雑かつ多様な課題への対応が求められています。

教育委員会では、全ての子どもたちが安心して楽しく学校へ通えるために、子どもたちの学習機会の保障や先生方の働き方改革など、学校が抱える教育環境の課題解決に向け、学校・家庭・関係機関と連携・協力を図りながら対応に努めてまいりますので、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のあいさつといたします。